

第
平成 年 月 日

小平産業株式会社 殿

改造等概要説明書(改造自動車等審査結果通知書)

- [指示事項] 1. 本改造車両は、24国自審 第440号、新型自動車番号 新06992号、類別2001 の車両に限る。
 2. 本車両は、車台番号KFL32-1037,1038,1039の3台限りとする。
 3. 検査の際には、改造部分詳細図を添付すること。
 4. 車両は、車両総重量 (分割可能な貨物) (004) について保安基準の緩和を要す。
 5. けん引自動車は、三菱QDG-FV50VJR (第5輪荷重 13200 kg) 類別1057 で検討した。

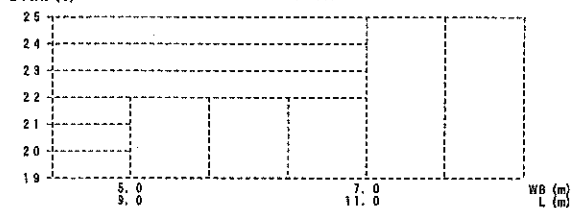
主要諸元比較表

標準車欄の類別等を記載する。(2001)

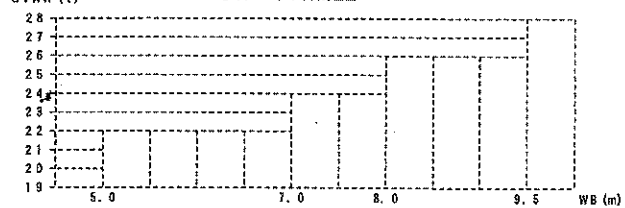
項 目	標準車	改造車	基準・限度	項 目	標準車	改造車	基準・限度
車 名	コダイラ	コダイラ		乗 車 定 員 人	—	—	
型 式	KFL32	KFL32改		最 大 積 載 量 kg	28200	25000	
自 動 車 の 種 別	普通 (被けん引6輪)	普通 (被けん引6輪)		前前軸重	9500	9320	≤10t (11990 kg)
用 途	貨物	貨物		前後軸重	8795	8890	≤10t (10395 kg)
車 体 の 形 状	セミレーラ	ダンプ・セミレーラ		車両総重量 kg	8795	8890	≤10t (10395 kg)
燃 料 の 種 類	—	—		後後軸重	8790	8890	≤10t (10390 kg)
原 動 機 型 式	—	—		計	35880	35990	≤20t~28t (39480 kg)
総排気量 (L)又は定格出力(kw)	—	—		最大安定 傾斜角度	左 49 ※1 右 49 ※1	43 ※2	一般 ≥35° その他 ≥30°
長 さ m	12.515 (11.935)	9.740 (8.950)	≤(12m)	前前軸	—	—	(— kg)
幅 m	2.490	2.490	≤2.5m	タイヤ サ イ ズ	前後軸 11R22.5-14PR 後前軸 11R22.5-14PR 後後軸 11R22.5-14PR	11R22.5-14PR	(10000 kg)
高 さ m	2.275	3.700	≤3.8m	前輪荷重 割 合	空 車 — 積 車 —	—	≥18,20%
軸 距 m	6.910+1.300 +1.300 =9.510	4.700+1.300 +1.300 =7.300		リヤ・オーバーハング m	2.425	1.550	≤1/2, 11/20, 3/20 (3.650 m)
輪 距 m	前 輪 — 後 輪 1.845	前 輪 — 後 輪 1.845		荷 台 オ フ セ ャ ッ ト m	2.365	1.650	
室 内 又 は 荷 台 の 内 幅 m	12.180	9.000		最 小 回 転 半 径 m	10.2 ※1	8.4 ※2	≤12m
側 の 寸 法	高さ m —	0.790					
車 両 重 量 kg	前前軸重 1380 前後軸重 2100 前後軸重 2100 後後軸重 2100 計 7680	前前軸重 2440 前後軸重 2850 前後軸重 2850 後後軸重 2850 計 10990					

車両総重量・軸重等の基準

GVWR (t) セミレーラ以外の車両総重量



GVWR (t) セミレーラの車両総重量



隣接軸距	1.8m未満	1.8m以上	1.3m以上1.8未満 (1の車軸にかかる荷重が9.5t以下である場合)
隣接軸重	kg ≤ 18t	kg ≤ 20t	kg ≤ 19t

能力強度等検討書

制 動 能 力	踏力 --- N 60 km/h 36.8m	車 軸 強 度	σ_B/σ --- / --- = --- ≥ 1.6
	空気圧 700 kPa	操 縦 装 置 強 度	σ_Y/σ --- / --- = --- ≥ 1.3
推 進 強 度	N_c/N_p --- / --- = --- ≥ 1.3	緩 衝 装 置 強 度	σ_B/σ 1520 / 813.83 = 1.86 ≥ 1.6
	σ_B/τ --- / --- = --- ≥ 1.6		σ_Y/σ 1370 / 813.83 = 1.68 ≥ 1.3
車 枠 強 度	σ_B/σ 490 / 151.28 = 3.23 ≥ 1.6	制 動 装 置 強 度	σ_B/σ --- / --- = --- ≥ 1.6
	σ_Y/σ 325 / 151.28 = 2.14 ≥ 1.3	連 結 装 置 強 度	σ_B/σ --- / --- = --- ≥ 1.6

注1. 能力検討欄は、該当しないものは—、省略したものは×を記入すること。

注2. 指示事項欄又は能力強度等検討書欄は、必要に応じて指示欄又は項目を追加・削除することができる。

注3. 現車審査の際は、通知書及び改造部分詳細図等の添付資料を提示すること。(9. (1) 関係)

注4. ※1はいすゞPDG-EXD52E8、※2は三菱QDG-FV50VJRとの連結時を示す。

Y48615